土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　山崎地区　急傾斜地崩壊対策事業に伴う測量調査設計業務委託

事業名 または 工事名　山崎地区　急傾斜地崩壊対策事業

調査目的及び調査対象　砂防 構造物基礎

ボーリング名	Bor. No. 2	**調査位置**	広島県山県郡安芸太田町大字中筒賀地内			**北緯**	34° 34′ 16.6833″
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所			**調査期間**	2023年 1月 9日 ～ 2023年 1月 10日	**東経**	132° 16′ 1.9631″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 238.87m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 38°	**使用機種**	**試錐機**	DD-D（東邦地下工機）
総削孔長	10.00m								**エンジン**	NFD-9（ヤンマー）	**ポンプ**	BG-3C（東邦地下工機）

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地層名	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1	238.47	0.40		シルト混り砂，表土		暗褐				腐植物を多く含む。		0 10 20 30 40 50		1.15	1	1	0	2								
2	236.07	2.80		礫混りシルト混り砂		暗褐	rd1			細粒分を混入する中～粗砂の混合砂。 φ2～10mmの亜角～亜円礫を混入する。 1.5m付近には腐植物を混入する。 含水小。 埋め戻し土砂の可能性あり。				1.45 2.15	1	1	1	3								
3														2.45 3.15	2	2	3	7								
4														3.45 4.15	2	2	2	6								
5				礫混り砂		明褐～暗褐	rd2			中～粗砂の混合砂。 φ2～20mmの亜角礫を混入する。上位の土相に比べ細粒分が減り、礫分が増加傾向にある。 部分的に花崗岩質の未風化礫を混入し、特に5.9m付近に集中する。 含水小。 埋め戻し土砂の可能性あり。	01/12 5.96			4.45 5.15	2	1	2	5								
6	232.17	6.70												5.45 6.15	1	1	2	4								
7	231.22	7.65		砂礫		褐	rd3			φ2～5mmの亜角礫主体。マトリックスは粗砂主体で占められる。含水中。				6.45 7.15	7	7	10	24								1/9
8														7.45 8.00	貫入不能			50								
9	228.87	10.00		風化花崗岩		明灰	rd5			コア長L=20cm程度の長柱状主体。ハンマーの打撃にて容易に折れ、岩質はやや脆い。割れ目は20°以下の低角度主体。割れ目沿いに褐色化が見られ、一部土砂を挟在。 CL～CM級				8.00 9.00	貫入不能			50								1/10
														9.00 10.00	貫入不能			50								